

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・各地で祭りが実施され、売上が伸びてくる時期であるが、今年は例年に比べ市外、県外からの客が特に多い。
	やや良くなっている	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・7月前半は、クリアランスセールの大成功により、紳士売場においては特に土日が非常に良い成績であった。来客数も多く、良いスタートを切ったが、後半20日過ぎからは、県内に災害があった関係で、出足が悪くなってしまっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は梅雨明けが遅れたが、3か月前に比べ、来客数、販売品数共に2けたの伸びであった。売上高はバーゲン時期であることから下回ったが、前年比では来客数110%、販売品数113%、売上が134%と全てが上昇した。
		その他専門店 [携帯電話] (営業担当)	販売量の動き	・携帯電話の業界は、例年6月後半から商戦が本格化していたが、今年は熱を入れ出したのが7月中旬と、ひと月遅れである。これは今秋の番号ポータビリティを見込んでいることと、各店舗とも利益が薄くなってきていることが原因と思われる。当店も毎週チラシで来客増をねらっているが、土日祝日以外の来客数は寂しいものである。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・地域の2日間の祭り、土用の丑共に、会食の単価を気にしない家族やグループが目立っている。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・今前半は夏休みの家族旅行を中心とした予約が多く入り、特に、国内では沖縄の高額商品が売れていた。中旬以降は雨が多くなったためか、販売量がなかなか伸びていない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・量販店内における客の動向が、デジタル関連、特にテレビ周辺機器に多くなってきており、当社のデジタルセットトップボックスとの連動した契約が増えてきているようである。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・個人客、法人客共に増加しており、良い方向に向かっていている。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	お客様の様子	・天気が若干良くなかったのが、逆に良い影響を与えたのかもしれないが、ゲーム、インターネットカフェの来客数、滞留時間、単価共に上昇傾向にある。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近、店舗等の引き合いが増加しているが、成約までに賃料値下げ等の交渉がまだまだ強く、依然デフレ傾向にある。住宅については、他都市から進出する業者の数がここ1年くらいでかなり増え、競争が激しく、値下げせざるを得ない状況である。
変わらない	一般小売店[精肉]（経営者）	お客様の様子	・はっきりしない天気が続いているので、土用の丑もお中元も活気が出ていない。野菜類の値上がりもあり、家計に響いている。	
	一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・客の口から、ボーナスでという言葉が出てこない。商品購入に当たり、衝動買いはみられず、出ているであろうボーナスはどこに回っているのか、出費に慎重である。	
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・梅雨がなかなか明けず、夏物クリアランス商品の動きが非常に悪くなっている。	
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べると、売上の伸びはほぼ横ばい状態であるが、今月は梅雨明けのが前年と比べて10日くらい遅れており、気温も低く、日照がかなり不足しているため、野菜の相場が安定せず、野菜の売上が特に悪い。	
	スーパー（統括）	販売量の動き	・長雨、集中豪雨や日照不足、低気温により、夏物衣料の中心となるUVカット商材、水着、タンクトップ、ショートパンツなどの盛夏物が不振である。クールビズは定着してきており、ポタンダウンは前年並みであるが、半袖物は15%程度落ち込んでいる。食品では飲料が不振だが、惣菜や加工肉、ベーカリーが好調で、全体としては堅調に推移している。	

	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・梅雨に入る前の6月初旬は暑さがあり、夏物の単品、Tシャツなどが好調であったが、梅雨入り後は雨もそれなりに降り、気温も上がらず、ただ蒸し暑いという状況で、客が買い控えをしている。天候不順が続いたことで打撃を受けている。
	家電量販店(営業担当)	販売量の動き	・梅雨が長かったので、エアコンの販売は苦戦し、金額で前年比75%である。薄型テレビは台数ベースでは125%と好調であるが、金額は95%と厳しい状況である。
	住関連専門店 (仕入担当)	販売量の動き	・梅雨明けが遅れ、季節品の動きが悪いが、前年7月も天候不順で同様の傾向であった。こと季節品に関してだけなら前年を越えているが、調理家電や照明器具などの販売量は減少している。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・ランチタイムが前年比で3割くらい激減したが、単価の高いディナータイムや週末が多少良かったために、何とか前年水準を維持できている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・5、6月とフリーの客がいくらか戻って上向いてきていたが、今月は宴会は今までどおりだが、フリー客の伸びが止まり若干下がってきている。長雨の影響や選挙の関係もいくらかあるとみている。
	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・夏季シーズンに入り一年で最も売上を見込める時期になったが、長引く梅雨と大雨の影響でキャンセルが相次ぎ、地域的に大雨の被害を受けた事も重なり、シーズンの始まりとしては相当厳しい状況にある。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・思ったより稼働が上がらず、春先の稼働から夏場にかけて予想していた数字を下方に修正した。一瞬の景気回復も地方都市では一過性だったようである。
	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・8月に選挙があるが、選挙の時は一時的に良くなることもあるが、ほとんどが悪い方向に走りがちである。7月は豪雨もあり、死者は出ていないが、県内でも大きな水害等が発生し、いろいろな面で大変であった。今後良くなれば良いが、まだ不景気の状態である。
	旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・来店客の様子、動向をみると高価格の旅行、海外等の長期旅行の売行きが非常に悪い。ただし、長期の海外旅行でも価格の安いものについては興味を持って来店している。国内では、圧倒的に日帰り旅行が多くなっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・梅雨明けが遅れていることや夏休みに入った会社も結構あることから、客の出足は今一つである。
	タクシー(経営者)	お客様の様子	・夜の動きは良くないが、天候不順のおかげで昼間の動きが良かったので、前年同月より少し増収になっている。
	遊園地(職員)	来客数の動き	・集客の中心となる週末の降雨などの天候不順により、来客数の増加がみられない。
	ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・天候不順によるキャンセルが多い。
	設計事務所(所長)	お客様の様子	・フランチャイズ及びプレハブ住宅の建設は増加しているが、在来工法の住宅建設は少ない。営業力の違いがそうさせているのか、統計的には在来工法の木造住宅の要望が潜在的に多いと聞いているが、現実はその方法が分からない。これからは、客の思いをどのようにつかむかが大切である。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・金利動向、税制等の面から、住宅は今が買いどきであると客に訴え続けているが、なかなか購入決定までは至らない。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・長雨、大雨のためか観光目的の来客数が落ち込んでいる。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・クリアランスのスタート数日間は良かったが、天候不順で夏物衣料の売上が伸び悩んでいる。
	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・中旬に催したセールは大変好評で売上もまずまずであったが、中旬以降は梅雨が長引いたために、思うように来客数、売上が伸びていない。

		乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・当業界でもガソリン販売価格の高騰が響いている。軽又はコンパクトカーへの乗り換えの商談があるが、客が考える金額との隔たりがあり、商談が成立しない状況にある。
		乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・今までは、毎月、展示会のチラシや新聞広告を出すところこの来客数と販売量があったが、7月は梅雨の長雨もあったせいか2、3か月前と比べ来客数が極端に少なく、販売量も減少している。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明け以降、宿泊稼働率が徐々に落ち込んでいる。6月に開業した近隣のビジネスホテルの影響かと考えていたが、大方の予想よりも厳しいという情報もあり、市内全体に業績不振が広がっているようである。
		ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・月初めは前年並みの予約実数があったものの、後半の大雨や見通しの悪い天気予報によって、1週間以内でのキャンセルが非常に多く、売上が低下している。
		美容室(経営者)	販売量の動き	・雨の日が続いた時の売上は、通常の半分であった。例年と比べ月の売上は10%減少し、従業員へのボーナスが出せなかった。
	悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・七夕の人出は例年どおりであったが、売行きは悪く、ワーキングプアを実体験している感じである。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・天候不順により客が外に出て来なくなったことが一番の要因である。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・通常インターネット関係では25%くらいの予約率だが、6月が16%、7月は15%と極端に下がっており、6～9月までは非常に悪くなっている。
企業 動向 関連	良くなっている やや良くなっている			
		食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・夏場は他の酒類、特にビール等におされて伸び悩むのが普通だが、今のところ中級ワインが順調に推移している。
		不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・面積は小さいが、空室テナントへの新規入居と増床が今月から稼働している。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・プライダル業界の販促関係の受注が前年同月比で120%となっている。来年にかけてまだまだ新しい施設のオープンが続く見込みである。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・前月同様に、引き合い、受注量共に増加傾向にある。ただし、競争が激しく、販売価格は据置きで、収益の改善には時間が掛かる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業(経営者)	取引先の様子	・例年、この時期は受注の谷間になるが、今年は特注及び店頭商品の受注量がいくらか上向きである。
		窯業・土石製品製造業(総務担当)	取引先の様子	・今月に入り、不渡りや手形のジャンプが発生しており、厳しい状況が一段と深まっている。
		金属製品製造業(経営者)	取引先の様子	・東証1部上場の取引先の工作機械は2007年半ばまで受注が一杯であり、産業機械も好調に推移している。我々協力工場の受注量、単価も順調である。特に、工作機械では、単価より品質重視の傾向になっている。
電気機械器具製造業(経営者)		受注量や販売量の動き	・メインの取引先の受注が中国製部品の不具合にてダウンしている。それに伴って新機種の生産も予定から遅れ気味である。	
電気機械器具製造業(経営者)		受注量や販売量の動き	・受注は若干増えてきているようだが、全般的には落ち着いている。少量、低価格の状況は相変わらずである。	
その他製造業[宝石・貴金属](経営者)		受注価格や販売価格の動き	・宝石の展示会では、相変わらず高額品か低価格品のどちらかしか売れず、売上が安定しない。小売店からは売れていないという声が多く、まだ景気の回復は感じられない。	
輸送業(営業担当)		取引先の様子	・6月は長雨の影響で家計商品等が2割ほど落ち込んだが、7月に入り平年並みの輸送量を確保している。ただし、燃料高の負担は大きい。	

	新聞販売店 [広告] (総務担当)	取引先の様子	・チラシの出稿量は99%と、前年を若干下回っている。天候不順のため、チラシ出稿を控える広告主があると聞いている。電器店、衣料品店等では後半の売上が伸びず、様子見の状態である。また、豪雨災害のため、夏祭りなど中止になるイベントが出ており、盛り上がりにも欠けている。	
	その他サービス業 [放送] (営業担当)	受注量や販売量の動き	・官公庁を中心にタイムコマースが3%程度減少しているが、商業、サービス業を中心にスポットコマースは増加している。ただし、単価、期間とも小口化している。落ち込んでいたイベント受注は、地域イベントや大型店舗などで回復してきている。	
やや悪くなっている	一般機械器具製造業 (生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・国内向けの案件は堅調であるが、韓国向けの案件が韓国のストライキの影響で止まってしまい、その影響が大きく出ている。	
	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・7月の売上は前年比で約10%減となっている。5月あたりからの素材の値上がり分を加味しても状況が悪く、受注量そのものが悪化している状況である。一方では価格転嫁が進んでいないということも、収益を圧迫している。	
	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・観光地においては、梅雨明けの遅れから夏休み観光客の出足が鈍くなっている。ガソリンの高騰も心理的に影響し、ブレーキが掛かっているようである。	
悪くなっている	建設業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・公共事業削減の影響で、地方都市は大変な状況が続いている。民間工事営業に力を注いでいるが、競争が厳しく、なかなか結果が出せない。受注高は前年比61%であり、経費削減を行ってはいるが、大幅な赤字が見込まれる。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社 (経営者)	周辺企業の様子	・求人誌を発行している各社とも、求人募集が増加している。依然として製造関係の派遣、請負が多いが、正社員募集も増えてきている。
		求人情報誌製作会社 (経営者)	求人数の動き	・7月に入り、求人広告の掲載件数が確実に伸びてきている。当地域のプレス産業では、今まで求人募集がなかったが、夜間や内需に絡む仕事が急ぎょ入ったようで、広告依頼が増えてきている。また、トラックや物流の募集なども増えており、全体的に雇用は広がっている。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人は前月比で約20%、前年同月比で12%増加している。
変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・求人数は相変わらず活発な動きをみせており、求職者数は少ない傾向にある。製造関係は依然として堅調な動きで、人の動きも少ないという見通しを立てている。小売関係、販売関係の求人も相変わらず動いているようだが、景気動向についてはまだ見通しが分からないという声が多い。	
	求人情報誌製作会社 (経営者)	周辺企業の様子	・周辺企業では倒産するところもあれば、かなり売上経常が伸びているところもある。5、6月と比べてあまり変わらない。	
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人は前年同月比で増加しているものの、その内容は前年同月比で2けた増となっているパート求人と、依然として2割を占める派遣求人である。直接雇用を含む正社員求人は厳しくなっている。	
	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・正社員採用に一服感がある。急場の対応は派遣、アルバイト又はパートが定着している。	
	学校 [短期大学] (就職担当)	求人数の動き	・来年度採用に向けた企業ガイダンス等をもみても、企業側の採用活動は継続しており意欲的に求人もあるが、職種には偏りがみられ始め、開発、技術職は目立つが、事務職、製造職等は一段落した感がある。	
やや悪くなっている	-	-	-	
悪くなっている	-	-	-	